



We are the User Experience Company.

## 第20期

株主通信「イードプレス」

iid Press

2019年6月期  
(2018.7.1~2019.6.30)

通期報告書



# 株主の皆さまへ

## TOP MESSAGE

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2019年6月期は、コンテンツマーケティングプラットフォーム事業（CMP事業）が好調を維持し、連結売上高は51億9千万円と前年に引き続き過去最高を更新、50億円の大台を突破いたしました。また営業利益も前期比で2桁増となる3億1千万円と堅調に推移しております。

CMP事業におきましては、事業取得、事業開発双方に注力し、積極的に新規メディアの展開を進めております。事業取得では、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて増加が見込まれる訪日外国人に対する多言語での情報発信源として「SeeingJapan」を取得いたしました。また、事業開発では、ふるさと納税の情報を発信する「ふるさと納税の達人」、バイクやクルマを愛する女性に向けたライフスタイル重視のメディア「Lady Go Moto!」の運営を開始するなど、着々と事業領域の拡大を図っております。

第5次モビリティ革命を支援するアクセラレーターとして、2017年夏より取り組みを始めている「iid 5G Mobility」では、キャンピングカーのレンタルやメディアサービスを運営するキャンピングカー株式会社への出資や、車中泊・テント泊スポットとして駐車場や空き地を旅行者に貸し出すシェアリングサービスを展開するCarstay株式会社との業務提携など、協業による事業展開を進めております。今後も急拡大が予想されるMaaS市場に向けて、新たなモビリティ事業の開発を目指してまいります。

私たちイードグループは、今後もM&Aや事業開発を推し進めるとともに、新規事業領域においては他社との協業も積極的に進め、次世代のビジネス収益モデルの確立を図ってまいります。

今後とも引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



株式会社イード 代表取締役 宮川 洋

## Contents

- 株主・投資家の皆さまへ ..... ①
- イードの事業概況 ..... ②
- 2019年6月期通期業績ハイライト ..... ③
- 特集 ..... ⑤
- 会社概要・株主の概況 ..... ⑨

# Contents Marketing Company

イードは、Webメディア運営会社の旧IRI-CTと、マーケティングリサーチ会社の旧イードが合併して生まれたコンテンツマーケティングカンパニーです。

インターネットを活用した企業のマーケティング支援事業を軸に、すべてのステークホルダーにとって最高のUXを提供できるよう挑戦し続けています。

## ■イードの事業概況：2つのセグメントにて事業を展開しています



## 2019年6月期通期 業績ハイライト

- ・連結の売上高は過去最高を更新し、50億円を突破
- ・連結の営業利益も堅調に推移、営業利益率もアップ

連結				CMP				CMS			
	FY6/19	FY6/18	前期比		FY6/19	FY6/18	前期比		FY6/19	FY6/18	前期比
売上高	5,192	4,715	110.1%	売上高	4,397	3,890	113.0%	売上高	795	824	96.4%
営業利益	310	256	120.9%	営業利益	303	212	143.1%	営業利益	6	44	15.6%
営業利益率	6.0%	5.4%	+0.6pt	営業利益率	6.9%	5.5%	+1.4pt	営業利益率	0.9%	5.4%	▲4.5pt

(百万円)

## 2019年6月期通期 連結損益計算書

- ・2019年5月15日公表の業績予想に対し、営業利益は103.5%、経常利益は104.6%といずれも予想を上回る結果となりました。

売上高は5,192百万円となり、5月15日公表の業績予想に対して106.0%の達成率となりました。また営業利益は310百万円で達成率103.5%、経常利益も313百万円で達成率104.6%といずれも予想を上回る結果となりました。

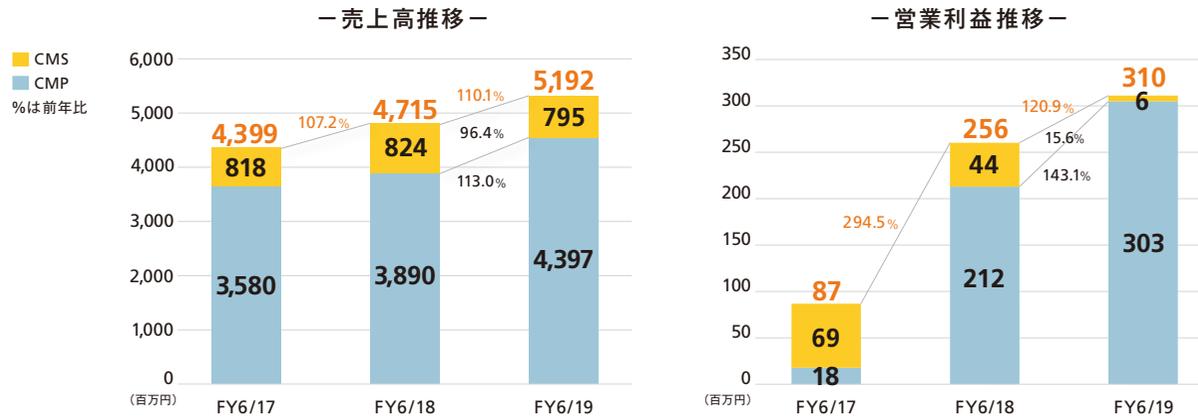
売上高、営業利益ともにCMP事業が連結全体を牽引しました。WebメディアのPV数は月間平均で180,216千PV/月と前期比17.7%増加しました。ネット広告売上高も1,789百万円で前期比34.4%増加となりました。

	FY6/19 期末	5/15公表の 業績予想	達成率	FY6/18 期末	前期比
売上高	5,192	4,900	106.0%	4,715	110.1%
営業利益	310	300	103.5%	256	120.9%
経常利益	313	300	104.6%	269	116.6%
親会社株主に帰属 する当期純利益	194	180	107.9%	50	387.4%

(百万円)

## 2019年6月期通期 セグメント別売上高、営業利益の推移

- ・CMP事業の売上高はネット広告、データ・コンテンツ提供の伸びにより前年比113.0%の二桁伸長
- ・CMP事業の営業利益は売上高の増加に支えられ前年比143.1%と大幅伸長



## 2019年6月期通期 連結貸借対照表

- ・2月15日の自己株式の取得により純資産は減少も、当期純利益を堅調に積み上げ、利益剰余金は194百万円増加

当連結会計年度末における総資産は3,245百万円(前連結会計年度末比146百万円減少)となりました。これは主に、流動資産に含まれる現金および預金が344百万円減少したことと、固定資産に含まれる投資有価証券の57百万円増加、およびのれんの51百万円増加等によるものです。

当連結会計年度末における負債総額は886百万円(前連結会計年度末比50百万円増加)となりました。これは主に、流動負債に含まれる買掛金が82百万円増加したことや、未払金が44百万円減少したこと等によるものです。

当連結会計年度末における純資産合計は2,359百万円(前連結会計年度末比195百万円減少)となりました。これは主に、自己株式の取得により395百万円減少したこと、利益剰余金が194百万円増加したこと等によるものです。

	FY6/19 期末	FY6/18 期末	前期比 増減額
流動資産	2,429	2,728	▲299
現金及び預金	1,526	1,870	▲344
固定資産	816	662	154
投資有価証券	319	262	57
のれん	140	88	52
資産合計	3,245	3,391	▲146
流動負債	752	707	45
固定負債	133	129	4
負債合計	886	836	50
株主資本	2,302	2,505	▲203
利益剰余金	1,071	877	194
自己株式	▲492	▲97	▲395
純資産	2,359	2,554	▲195
負債・純資産	3,245	3,391	▲146

(百万円)

## 「iid 5G Mobility」の取り組みについて

第5次モビリティ革命を支援する自動車特化型アクセラレーター「iid 5G Mobility」を通じて、MaaS (Mobility as a Service) 領域の事業開発、進出企業支援や投資を行っています。



### キャンピングカー株式会社に出資

「アウトドア総合プラットフォーム」を目指し、キャンピングカーのレンタルやメディアサービスを運営するキャンピングカー株式会社の第三者割当増資を引き受け、資本業務提携を締結しました。所有から利用への変化による市場拡大が続くキャンピングカー領域で、両社で新たなモビリティ事業の開発を目指します。



### Carstay株式会社と業務提携

VANLIFEの情報発信やカーステイテーションの開発に取り組むCarstay株式会社と業務提携。ホテル開発や民泊だけでなく、“VAN泊”モビリティサービスも、街づくりや観光開発に重要な役割を果たすと考えています。



MONET TECHNOLOGIES INC.

### 「MONETコンソーシアム」に参画

MaaS普及促進、移動における社会課題の解決や新たな価値創造を目指すことを目的に、ソフトバンク株式会社やトヨタ自動車株式会社の共同出資会社であるMONET Technologies株式会社が設立した「MONETコンソーシアム」に当社も参画しました。



## 事業拡大のための戦略投資

インターネットメディアにおける事業拡大を見据え、オウンドメディアの運営支援サービス拡充やエンジニアリングの強化などを目的とした戦略投資を行っています。

### オウンドメディア向けCMSを提供するSODAに資本参加

企業のオウンドメディアやコンテンツマーケティングの運営支援、成長支援の強化のため、オウンドメディア向けCMS「CREAM」を提供するSODA株式会社に資本参加しました。

「CREAM」はオウンドメディア向けCMSとして多数の採用実績があります。今後も「CREAM」の機能拡充やサービス拡充を両社で進めてまいります。



記事制作が簡単



モバイルに強い



SEOに強い

### カンボジアのBENITEN社に戦略投資

ブロックチェーンを活用したトークンエコノミーのプロジェクト「GameDays」および「Tokyo Honyaku Quest」の開発も担当するカンボジアのBENITEN社に戦略投資を行いました。BENITEN社は当社の元従業員が起業した会社で、グループの海外拠点として、技術開発のみではなく、ビジネス開発や海外M&Aの拠点としても整備を進めてまいります。



## VTuberの取り組みについて

ゲーム情報メディア「インサイド」のキャラクター“インサイドちゃん”がVTuberデビューして1年、オンラインでの配信だけでなく、テレビへの出演、イベント開催など活躍の場も広がっています。



千葉テレビのVTuber番組「ぶい!ちーばー!!」にMCとしてレギュラー出演



SHOWROOMのイベント「第三回 ぜんためインディーズ&VRコーナーイメージキャラクター募集 / パーチャル限定」で優勝



株式会社コロプラが主催する日本初VRアニメミュージックフェスティバル「Vアニ」に出演



株式会社クラスターが運営する「cluster」にて同サービス初となる帯番組「VRインサイドちゃん」を開始



VTuber音楽フェス「Project Singularity 音楽的特異点」を4社で主催



ゲーム情報サイト「インサイド」生誕&ファン感謝イベント「インサイダー収穫祭」を秋葉原エンタスにて主催

## グループ会社の取り組みについて

他社サービスとの連携やM&Aにより新たな事業領域の開拓を行っています。



### 読み聞かせコンテンツを音声で配信

絵本ナビでは、シマラヤジャパン株式会社が運営する「Himalaya」および、株式会社オトバンクが運営する「audiobook.jp」にて、書籍コンテンツを音声化した作品を配信開始しました。今後も絵本や児童書などの音声コンテンツを拡充していく予定です。



主婦の友社刊「頭のいい子を育てるおはなし 366」、自然史学会連合刊「理科好きな子に育つふしぎのお話365」などのコンテンツを配信中



### EC運営支援で実績を残してきた ネットショップ総研を子会社化

ドリームリンクが、EC黎明期からEC運営支援で多数の実績を残してきた、株式会社ネットショップ総研の全株式を取得しました。自社でのEC運営のノウハウと、ネットショップ総研のコンサルティングのノウハウを掛け合わせ、ECを展開するあらゆる事業者に向けてコンサルティングビジネスを展開してまいります。



## 会社概要

会社名	株式会社イード (IID, Inc.)
設立	2000年4月28日
所在地	〒163-0228 東京都新宿区西新宿2丁目6-1 新宿住友ビル28階
資本金	868,581千円
事業内容	メディア事業 リサーチ事業 メディアコマース事業
従業員数	単体144名／連結227名
子会社	Interface in Design, Inc. 株式会社エンファクトリー 株式会社絵本ナビ 株式会社ドリームリンク ネイティブ株式会社

## 役員

代表取締役	宮川 洋
取締役	須田 亨
取締役○	大和田 廣樹 (株式会社ドリームキッド 代表取締役)
取締役○	吉崎 浩一郎 (株式会社グロース・イニシアティブ 代表取締役)
監査役	山中 純雄
監査役○	安達 美雄
監査役○	藤山 剛 (株式会社ラウンドアバウト・キャピタル 代表取締役)

○=社外役員

## 株主の概況

発行可能株式総数	8,000,000株
発行済株式の総数	4,994,300株
株主数	2,420名

### ■大株主の順位

順位	大株主名	株式数	持株比率
1	エキサイト株式会社	706,900	15.91%
2	株式会社博報堂DYメディアパートナーズ	517,700	11.65%
3	株式会社マイナビ	400,000	9.00%
4	株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント	240,000	5.40%
5	電通デジタル投資事業有限責任組合	200,000	4.50%
6	株式会社SBI証券	128,211	2.89%
7	宮川 洋	122,000	2.75%
8	BNYM SA/NV FOR BNYM FOR BNYM GCM CLIENT ACCT E PSMPJ	99,885	2.25%
9	吉野 弘彦	90,900	2.05%
10	イード従業員特株会	85,151	1.92%

(注1) 2019年6月30日時点の株主名簿に基づき記載しております。  
2019年8月13日付で公表しました第三者割当による自己株式処分の結果は反映していません。  
(注2) 当社は、2019年6月30日時点で自己株式552,222株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。  
また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## 株式についてのご案内（株主メモ）

上場市場	東京証券取引所 マザーズ
証券コード	6038
事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年事業年度終了後3ヶ月以内
株主確定基準日	毎年6月30日
株式の売買単位	100株
公告掲載方法	電子公告により行います。公告掲載URL： <a href="http://www.iid.co.jp/company/koukoku">http://www.iid.co.jp/company/koukoku</a> やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
連絡先・郵便物送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL:0120-232-711 (フリーダイヤル)

# 第20期

株主通信「イードプレス」

# iid Press

2019年6月期

(2018.7.1～2019.6.30)

## 通期報告書



株式会社イード  
(証券コード 6038)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報や判断に基づくものであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性がありますことをご了承ください。本資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、その内容の正確性及び確実性を保証するものではないことをあらかじめご了承ください。本資料に掲載されている各セグメントの数値はセグメント内に連結調整を反映する前の数値です。

IRサイトのご案内

イード IR

検索

<http://www.iid.co.jp/ir/>